

山形県
尾花沢市

おばなざわ

银山温泉の街並み



雪とスイカと花笠のまち

観光



TOURISM

寄り添う館は、日本のこころ。
とくと満喫、湯煙旅情。

ぎんざんおんせん 銀山温泉

銀山川の両側に、木造三層・四層の旅館が軒を連ねる温泉街は、一幅の絵のよう。大正ロマンの風情あふれる街並みをそぞろ歩く浴衣姿は、銀山温泉の主人公です。ガス灯がともる夕暮れは一段と郷愁を誘います。「出羽の名湯」でくつろぎ、地元の旬が並ぶ膳に地酒を飲み交わすのは、至福のひととき。尾花沢の豊かな人情も旅のごちそうです。



わらしゆ 足湯 和楽足湯

源泉をそのまま使用した足湯で、どなたでも気軽にご利用できます。湯の香りを感じつつ風光明媚な温泉街を一望しながら、ゆっくりと過ぎていく時間をお楽しみください。



ゆ 共同浴場 しろがね湯

建築家の隈研吾氏デザインのモダンな建物が印象的な銀山温泉の共同浴場です。細かな湯の花が浮かぶナトリウム一塩化物・硫酸塩温泉で、体の芯から温まります。



たいしょう 感じる 大正ロマン

大正ロマン漂う銀山温泉。貸衣装で温泉街に溶け込む姿は、まるでタイムスリップしたかのよう。心に残る体験が待っています。



銀山温泉のオススメ

豊かな自然の中にひっそりと佇む銀山温泉。春夏秋冬・昼夜でも違った雰囲気を感じられます。都会の喧騒をはなれ、ゆっくりとした時間や景色をお友達やご家族、そして大切な人と、お楽しみいただければと思います。皆さまのお越しを心より、お待ちしております。



公衆浴場ご案内

旅館名	営業時間	料金
共同浴場 しろがね湯	8時30分～ 15時30分 (最終受付15時)	大人/500円 小人/200円
定休日/水曜日、他不定休		

※営業日時に変更となる場合がございます。最新情報は尾花沢市公式HP (<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/1968.html>) をご覧ください。

銀山温泉散策コース

夏の銀山温泉散策コース、特に全てを廻る「満喫コース」は、人の一生を巡る道としてパワースポットになっています。また、山の神社は子宝に恵まれると評判の神社です。



ぎんこうどう 銀坑洞

400年前ににぎわった銀山の面影が残る国指定史跡。歩道橋や照明設備が整っています。見学は無料です。(冬期間は閉鎖)



洗心峡



おもかげ園



白銀の滝



夏しらず坑

坑口からは、夏でもひんやりとした風が吹き出ます。暑さを忘れさせてくれる夏の定番スポットです。

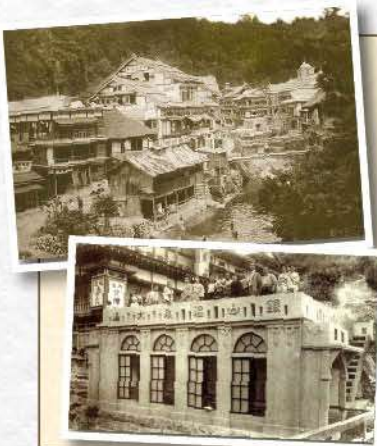
市外局番：0237



銀山温泉街 マップ

銀山温泉に関するお問合せは…銀山温泉観光案内所 ☎ 0237(28)3933

旅館名	室数	電話番号
①銀山荘	40	28-2322
②古山閣	10	28-2039
③クラノバ	6	28-2039
④旅館 松本	10	28-2021
⑤昭和館	13	28-2151
⑥古勢起屋別館	14	28-2322
⑦御宿 やなだ屋	4	28-2030
⑧本館古勢起屋	14	28-2322
⑨藤屋	8	28-2141
⑩旅館 永澤平八	8	28-2137
⑪能登屋旅館	15	28-2327
⑫旅籠 とうや	4	28-2025
⑬瀧見館	14	28-2164



昔の話

延沢銀山は、1456年に加賀国金沢の「儀賀市郎左衛門」が発見したとされています。1600年頃から野辺沢氏によって経営されていましたが、1634年には江戸幕府の御公儀山として直轄され、最盛期には約1万5千人を超える関係者が生活していたと推定されています。銀山温泉は、その開発の際に出湯し、当時から山師たちが利用していたとされる400年以上の歴史がある温泉です。温泉街は鉱山衰退後、山師から温泉宿の経営や温泉商人となった者が生業とし、多くの湯治客でにぎわいを見せたと言われています。

また、銀山川の清流をはさんで両岸に位置する現在の温泉の街並みは、大正中・後期から昭和初期にかけて形成され、木造三層・四層の風情ある旅館や街並は、今でも大正文化の面影を残しています。歩道に並ぶガス灯がノスタルジックな雰囲気醸し出し、夕方、そのガス灯に火が灯る風景は人気の1つです。尾花沢市が1986年に制定した「銀山温泉家並保存条例」によって、建物と景観を維持し、観光振興に生かしています。1983年には、NHK連続テレビ小説「おしん」の舞台になったことで全国的に有名になり、現在では、海外からの観光客も増加しています。

観光



源流の雄姿を今に残す。
 ヤツシヨマカシヨのかけ声が響き、



はな がさ おど 花笠踊り

尾花沢が発祥の地である花笠踊りは、徳良湖築堤の作業に合わせて歌われた土搦き唄（「花笠音頭」の元唄）に、人夫たちが使用したスゲ笠で踊ったことがはじまりとされています。現在は、源流5流派として子どもから大人まで広く受け継がれています。



春

徳良湖まつり

花笠踊り発祥の地・徳良湖で、毎年5月の大型連休に行われます。本場の花笠踊りの披露、全国花笠マラソン大会、つり大会など多彩な催しが満載です。遊具も充実していますので、お子連れでどうぞ。



夏

おばなざわ 花笠まつり

県内の夏祭りの最後を飾る盛大な祭りで毎年8月27・28日に行われます。初日は神輿や囃子屋台などの伝統行列、2日目の「花笠踊り大パレード」では、約2,500人の踊り手で街中が花笠一色に染まります。



秋

尾花沢 もっとまるだし 未来まつり

尾花沢の食・技・芸が大集合。尾花沢の魅力余すことなく体験できるおまつりです。

四季を彩る尾花沢四大まつり



冬

尾花沢 雪まつり ～徳良湖 WINTER JAM～

毎年2月に徳良湖周辺特設会場で開催。滑り台やスノーモビル乗車などのアクティビティ体験をはじめ、冬のスイカ割り大会など、雪に親しむ催しが満載です。

おまつり カレンダー

開催日	名称	場所
5月大型連休	徳良湖まつり	徳良湖周辺
8月15日	尾花沢牛肉まつり	徳良湖周辺
8月27・28日	おばなざわ花笠まつり	市街地中心部
10月上旬	尾花沢もっとまるだし未来まつり	サルナート
10月中旬	尾花沢新そばまつり	尾花沢市内
2月下旬	尾花沢雪まつり ～徳良湖 WINTER JAM～	徳良湖周辺

徳良湖

自然と共存したレジャーを四季を通じて楽しめる湖で、ヨットやカヌー体験、遊具やキャンプ場、レストランに温泉といった施設が集まる市民憩いの場です。「ため池百選」にも選ばれており、湖畔から望む風景は、人の心を和ませてくれます。

風を感じて、湖面に憩う。
笑顔と一緒に日が暮れる。

サンビレッジ徳良湖 オートキャンプ場

☎0237-23-2111 / 受付8:30~17:00
冬季間は、冬キャンプ・ログハウス利用可
キャンプサイト100ヶ所とログハウスが3棟。アスレチック広場や釣りなどアウトドアライフを満喫できます。設備も充実し、徳良湖温泉も徒歩5分の距離です。



徳良湖温泉 花笠の湯

☎0237-24-1160 / 8:00~21:30 第3水曜定休・冬期間(1~3月)9:00~21:30 (2・3月は第1水曜日も休館)

徳良湖温泉は、訪れた人の疲れを癒す館として親しまれています。休憩個室や家族風呂も完備し、本格的な手打ちそばが食べられます。また、花笠踊りや徳良湖の歴史が学べるコーナーもございます。



グラウンドゴルフ場

受付:ふれあいセンター ☎0237-23-4570
利用料金/100円(中学生以下無料)
徳良湖周辺に天然芝の全16ホールが広がり、快適なプレイを楽しめます。道具のレンタルも無料で、初めての方でも気軽に楽しむことができます。



レストラン徳良湖

☎0237-23-2989 / 火曜定休
11:00~18:30 (冬期間17:00以降要予約)
徳良湖の美しい景色を眺めながら、極上の「雪降りや牛尾花沢」を味わうことができます。軽食やお子様向けのメニューも充実しており、お得な限定ランチも人気です。



徳良湖パンプトラック場

☎0237-22-1111 / 月・木・金17時~20時、土日祝日10時~20時(冬季は閉鎖)
話題のBMXやスケートボードが楽しめるパンプトラック場が徳良湖に登場しました。用品のレンタルもありますので初心者の方も気軽にお越しください。



徳良湖スノーランド

☎0237-22-1111 / 10:00~15:00
入場無料(スノーモビル・バギーは有料)
1月中旬~2月末に、巨大な雪山滑り台をはじめ様々なアクティビティやスノーモビル・スノーバギー乗車体験を楽しめる冬の遊び場がオープンします。



昔の話し

築堤当時の徳良湖

尾花沢市の東側一帯は地形的に高台で農業用の水を引くのは難しく、田んぼにできませんでした。明治後期、お米の値段も高くなり、各地で開田ブームが起こります。1919年(大正8年)高宮常太郎氏(当時34歳)は、トクラ森にため池をつくることを考えました。この大事業を行うには、たくさんのお金とその土地をもっている人からの協力が必要で、「尾花沢耕地整理組合」を作って事業をすることにしました。

お金のやりくりやたくさん書類を作成し、ようやく事業をはじめることができました。徳良ため池は、大正8年から延べ約7万人という多くの人々の力で1921年(大正10年)に完成しました。築堤の最盛期には一日300人の人夫があつまり、毎日が単純な作業の繰り返しのため、人夫たちは作業に合わせて即興の唄(土揚ぎ唄)を歌うことで、気分転換をしていました。その時歌われたのが、「花笠音頭」の元唄といわれています。また、唄だけでなく、持っていたスゲ笠を回して土揚ぎ唄にあわせて踊るようになりました。これが「花笠踊り」のもととなっています。

観光



TOURISM

きらきら舞う粉雪は、
新しい冒険へと誘います。

はな がさ こう げん 花笠高原

「日本三雪」に数えられる尾花沢の中でも、ひときわ雪の多い花笠高原。新雪が一面に広がる「花笠高原スキー場」で描くシュプールは、真っさらな自然へのメッセージ。長く厳しい冬が終われば、ブナ原生林の残る御所山で山菜採りや森林浴を楽しむことができます。



はな がさ こう げん じょう 花笠高原スキー場

☎0237-28-3939 / 料金: 大人1日券1,900円

全長 811m のペアリフトとナイター設備を完備。昼は雄大なパノラマのもと、夜は幻想的なゲレンデで、快適な滑りが楽しめます。初・中・上級の3つのコースのほか、スノーパークが充実。大型3連キッカーも整備。家族や仲間とスノースポーツを満喫できます。



はな がさ こう げん そう 花笠高原荘

☎0237-28-2121 / 宿泊: 6,900円～
入浴のみ: 大人400円・小人100円

スキーのほか、御所山登山や山菜採りの拠点としても最適な公共の宿。国内でも珍しい8種類の漢方生薬を配合した薬湯「御所乃湯」があり、眺めの良い大浴場でゆったりくつろげます。



花笠高原 ログハウス

受付 ☎0237-28-2121 / 1棟14,310円～
県内産杉を使用したおしゃれなログハウス。雄大な自然とふれあいながら、家族や気の合う仲間思いっきり楽しめます。



花笠高原 交流施設

受付 ☎0237-28-2121 / 料金: 半日4,160円
花笠高原入口にある約 2,000㎡ の広さを有する土間の体育館。様々なスポーツが楽しめる全天候型の施設です。



自然を満喫

大自然が作り出す見事な景観は、心に秘めた冒険心を満たしてくれます。少年少女には、まだ見ぬ世界を目指す好奇心と大きな成長をもたらし、大人には、小さい頃に冒険した懐かしい記憶を蘇らせてくれるでしょう。

尾花沢の山々と清流は、いつもあなたを歓迎しています。



ここにしかない風景。
雄大な自然と清流が育む、

御所山：材木岩



御所山：層雲峡

御所山

☎：尾花沢市商工観光課 ☎0237-22-1111
山頂まで約5時間(御所山荘から)

地元では古くから、水神を祀る霊山として信仰を集めてきた御所山。山形・宮城両県にまたがる広大な山並は、県立自然公園の指定を受けています。そのなかでも、層雲峡コースの渓谷は特に美しく、山頂からの眼下にはじゅうたんを敷きつめたようなハイマツ林が広がっています。また、山菜・キノコの宝庫としても知られています。



御所山荘

日帰り520円 宿泊1,040円
予約：花笠高原荘 ☎0237-28-2121

御所山の尾花沢登山口に位置する山小屋「御所山荘」。(水場、トイレ有) このあたりまでが車で乗り入れ可能です。



二ツ森

☎：玉野地区公民館 ☎0237-28-2111
山頂まで約1時間

地元では馬具の鞍に似ているため荷鞍山(にぐらやま)とも呼ばれています。



翁山

☎：宮沢地区公民館 ☎0237-22-0433
山頂まで約1時間30分

稜線が美しい登山コースは、初心者にも人気。



御堂森

山頂まで約3時間

山野草「イワウチワ」が群生しており、春には斜面に美しい花が咲き誇ります。

☎：常盤地区公民館 ☎0237-28-2122 <http://www.13.plala.or.jp/hosonomura/>



大平山

山頂まで約1時間30分

細野集落で春に「高い山運開き」が開催され、市内外から多くの参加者が集まります。



御所の水ハス公園

見頃：7月～9月／場所：鶴子
淡いピンク色の花をつけた3,000本のハスが咲き乱れ、緑色の葉との美しいコントラストを演出します。



明光寺の棚田

見頃：6月～7月／場所：中島
中島地区にある明光寺の棚田は、県が指定する「やまがたの棚田20選」にも選ばれています。

山開きの日程

名称	標高	山開き
御所山	1,500m	6月下旬
二ツ森	742m	5月下旬
翁山	1,075m	6月上旬
大平山	814m	5月下旬
御堂森	1,057m	5月中旬



歴史



history



芭蕉も訪ねた尾花沢
ゆかしき里の、風情を探しに

尾花沢で詠まれた発句
涼しさを 我宿にして
ねまる也
芭蕉



おくのほそ道

みち

江戸幕府が繁栄を極めた元禄時代、俳人松尾芭蕉は江戸深川を旅立ち、約5か月をかけて全行程2,400kmを旅しました。その中で書いた紀行文と俳句が「おくのほそ道」です。芭蕉は元禄2年(1689)5月17日(現在の7月3日)、門人曾良を伴い鈴木清風を訪ね、ここ尾花沢に10泊しています。



柿本人麿像(鈴木家所蔵)
[芭蕉来訪展の時のみ展示]

芭蕉、清風 歴史資料館★

☎0237-22-0104 / 開館時間9:00~16:30

入館料: 大人210円・学生100円・中学生以下無料
休館: 水曜、年末年始

鈴木清風邸跡の隣にあり、「おくのほそ道」関連資料のほか、雪国の民具も展示。特に芭蕉真筆2点は、元禄6年に岸本八郎兵衛に宛てた手紙であり、貴重な資料です。資料館自体が江戸末期の町家を移転復元した、貴重な建物です。



芭蕉真筆(岸本八郎兵衛宛書簡)

松尾芭蕉と鈴木清風

芭蕉と清風は、江戸で俳諧を通じて出会いました。

芭蕉は『おくのほそ道』に「かれは富める者なれども志卑しからず」と記しています。

清風は、元禄期における出羽の豪商で、風雅にも心を寄せた人物でした。江戸を出発してから49日間も旅をしてきた芭蕉を、清風は手厚くもてなしています。

心に豊かさを求める人々の願いは今も変わりません。



養泉寺

芭蕉が尾花沢に10泊したうち、養泉寺に7泊しています。境内には、芭蕉が詠んだ句を石に刻んだ「句碑」(宝暦12年・1762年建立)があり、涼し塚と呼ばれ人々に親しまれています。また、最上三十三観音の一つであり、第二十五番札所となっています。



芭蕉を辿る 散策コース



芭蕉が歩いた 山刀伐峠

元禄2年(1689年)、芭蕉と門人の曾良は隣町の最上町より「おくのほそ道」でも最大の難所と言われている山刀伐峠を越えて尾花沢(鈴木清風宅)にやってきました。現在、芭蕉が辿ったブナ林の道が「歴史の道」「おくのほそ道・山刀伐峠越」として整備されています。峠道の全長は約3.8kmで、頂上の標高は約470mです。



「歴史の道」「おくのほそ道・山刀伐峠越」



奥の細道山刀伐峠頭彰碑

尾花沢まつり

(8月27日、諏訪神社例祭)



豊年踊り



離子屋台



おばなざわが 尾花沢雅楽★

尾花沢雅楽は三管三鼓で構成され、江戸時代寛政年間(1789~1800)に伝えられたとされています。雅楽は、念通寺門徒に伝承され「念通寺雅楽」として代々維持されてきました。近代になり、一時廃絶の危機がありました。1974年に尾花沢雅楽保存会が発足し、伝承されて今に至ります。尾花沢雅楽は市指定の無形文化財です。



まつりばやし★

尾花沢まつりばやしは、京都祇園ばやしの系統を引くと言われ、約200年前の諏訪神社再建を祝って奉納されたとされている市指定の無形文化財です。現在は、大人から子どもまでが伝承活動を行っており、尾花沢まつりで、雅(みやび)で格式高い音色を響かせています。



のべ さわ じょう せき 史跡 延沢城跡

戦国時代、尾花沢周辺で活躍した野辺沢氏。満重、満延、光昌の3代が延沢城周辺を支配していた時の山城跡です。その東方にある延沢銀山は、野辺沢氏が開発し、後に幕府直轄になりました。1985年(昭和60年)12月、延沢城跡、銀山の銀坑洞、山神社が一体となって国指定史跡となっています。

★マークは「日本遺産/山寺が支えた紅花文化」の構成文化財に選定されています。

特産

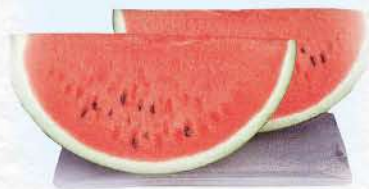


product



お ばな ざわ 尾花沢すいか

昼夜の寒暖差が生み出す抜群の甘さ、そしてシャリッとした歯触り。おいしさで有名な尾花沢すいかは太陽と大地の恵みを受け、農家の人々が育んだトップブランドです。夏スイカ生産量日本一を誇ります。



こだわりの
ポイント

「尾花沢すいか」は夏の冷涼な気候と清らかな水、豊かな大地、高い生産技術、これらの環境で生まれ、爽やかな甘さと抜群のシャリ感は、一口食べると納得のうまさです。ぜひ、一度「尾花沢すいか」を味わってみてください。

ゆき ふ わ ぎゅう お 雪降り和牛尾

和牛の飼育頭数で東北有数を誇る尾花沢牛はキメ細やかな中でも、特に月齢32ヶ月以上で未経産の雌牛にこだとろけるような口どけと、うまみ豊かな肉質には、生産います。どうぞご賞味ください。



尾花沢牛肉まつり

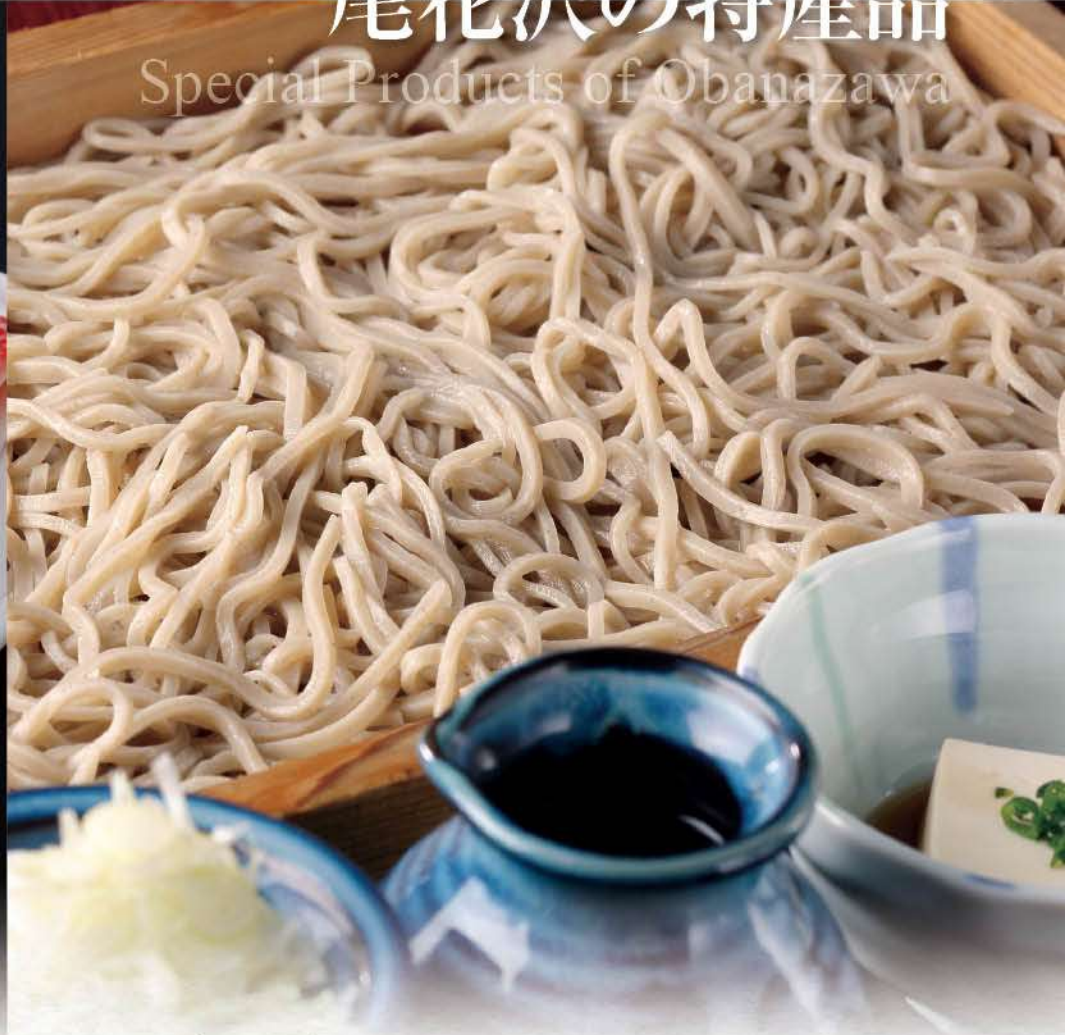
8月15日／徳良湖周辺特設会場

☎: 0237-22-1111(尾花沢市農林課)

最高級の尾花沢牛を七輪の炭火焼きで味わえるイベント。毎年8月のお盆に徳良湖湖畔で開催され、青空の下、おいしい牛肉を堪能できます。おいしく焼き上がった牛肉と野菜を、特製スイカタレでお召し上がりください。

お ばな ざわ
尾花沢の特産品

Special Products of Obanazawa



お ばな ざわ
花沢

かな肉質と、まろやかな味わいです。
わったのが、「雪降り和牛尾花沢」。
者の高い技術と熱い思いが詰まって

お ばな ざわ
尾花沢そば (原種「^{もがみわせ}最上早生」)

そばの作付面積は県内でもトップクラス。特に原種「^{もがみわせ}最上早生」の種子は交雑を避けるため
に市内の高地にある牧場で隔離して栽培。数年の時を経て大切に増やされた種子は、市内全
域で作付けされており尾花沢そばとして提供されます。

こだわりの
ポイント

私たちはたっぷりの愛情と時間をかけ、牛たちをのびのびと育てています。厳選された飼料と、尾花沢の澄んだ水、そして何よりも広い草原と、尾花沢の厳しい冬が柔らかで良質な肉質にしてくれます。私たち生産者が育てた本物の和牛の旨さ、自信を持って皆様にお届けします。



こだわりの
ポイント

より良質なそばを未来に継承したいとの思いから、原種「最上早生」の種子栽培は生産者とそば店などの提供者が互いに手を取り合い、種まきから収穫まで手塩にかけ少しずつ収穫を増やしていきました。尾花沢そば街道ではこのこだわりあるそばの味を最大限引き出すため「ひきたて」、「うちたて」、「ゆでたて」の「3たて」で今日も提供しています。



新そばまつり

10月中旬

☎: 0237-22-1111(尾花沢市商工観光課)

爽やかな秋空の下、収穫したての香り立つ新そばを求めて多くのそばファンが集まるイベントです。原種「最上早生」を使用したそばは絶品。ぜひご賞味ください。



鶴子地内 7 銀山温泉内 8 9
 【P5参照】 【P2参照】



げんしゅ おきなさん 幻酒 翁山

●内容量 720ml・1800ml ●アルコール分 18度
 幻の米「さわのはな」を惜しみなく使って出来た日本酒「翁山」。尾花沢で生まれた「さわのはな」はとてもおいしいお米ですが、栽培が難しく大変貴重なため、幻の米といわれています。ぜひ一度、洗練された深い味わいをお楽しみください。

第14回(2019年)
 全国どぶろく研究大会「淡麗の部」最優秀賞受賞
 おばねのどぶろく 花笠みぞれ

●内容量 720ml ●アルコール分 11度
 県産米「はえぬぎ」を使用し、飯米と同じ精米状態での醸造にこだわっています。
 杜氏(とうじ)が発酵経過中にモーツァルトの曲を聴かせ、愛情を込めて丁寧に醸造したお酒です。



雪山ぶどうワイン

●内容量 750ml ●アルコール分 11.5%
 厳しい気候でとれた尾花沢産山ぶどうを100%使用した山ぶどうワイン。野趣あふれる山ぶどうの独特の豊かな香りと酸味をお楽しみください。



スイカサイダー

夏スイカ生産量日本一を誇る尾花沢すいかの果汁を、たっぷり30%使用。スイカのみずみずしさをそのままに、フルーティで飲みやすく仕上げました。



尾花沢 すいかカレー

平成27年ふるさと食品コンクール最優秀賞(県知事賞)を受賞。水を一切加えず、尾花沢すいかを1/2玉使用しています。口当たりがよく、牛肉もゴロゴロ。抜群に美味しいカレーです。

市街地マップ／グルメ／お土産



尾花沢そば街道

番号	名称	電話番号
1	手打ちそば たか橋	22-0460
2	そば処 明友庵	53-0802
3	そばや匠(しょう)	23-3033
4	食事処 柏屋	22-0151
5	名代そば処 福原屋	22-0035
6	そば処 べにばな庵(花笠の湯)	24-1160
7	そば処 鶴子	28-3041
8	そば処酒処 伊豆の華	28-2036
9	そば処 瀧見亭	28-2527

菓子店

番号	名称	電話番号
1	寒月堂	22-0178
2	ぱんどら	23-2734
3	杵屋尾花沢店	22-0621
4	うろこや	23-3111
5	明友	22-1819

市外局番：0237

宿泊・交通施設

番号	名称	電話番号
1	加登屋旅館(泊)	22-0020
2	ビジネスホテルおもたか(泊)	23-3050
3	尾花沢タクシー(交通)	23-2525

尾花沢牛ラーメン

番号	名称	電話番号
1	中華料理 竹八	23-5539
2	そば処 尾花屋	22-0267
3	食事処 柏屋	22-0151
4	中華料理 昭和食堂	22-0445
5	そば処 明友庵	22-1819
6	名代そば処 福原屋	22-0035
7	支那そば 一ばん	22-0137
8	若葉食堂	22-0845
9	中国ラーメン 彩龍	23-4060

尾花沢牛が食べられる店

番号	名称	電話番号
1	焼肉レストラン 満月	22-0127
2	レストラン 徳良湖	23-2989

尾花沢のグルメ・おみやげ

お問合せ：(一社)尾花沢市観光物産協会 ☎0237-23-4567



尾花沢そば

尾花沢そば街道各店では、高品質のそばを提供するために、よく吟味したそば粉と最高の副材料を用い、昔ながらの家伝を守りながら、手抜き仕事はしない「職人気質」で格調高いそばを提供しています。



尾花沢牛

日本三雪の尾花沢市で育てられる和牛は、厳しい冬の寒さから身を守るため、自然に上質な脂を身につけていきます。サシは、きめ細かく口どけはフワッと軽やかで粉雪のようです。



尾花沢牛ラーメン

黒毛和牛のなかでも極上の逸品「尾花沢牛」をコトコト煮込んだ濃厚な味わいのスープととろける牛肉に、さわやかな酸味のスイカのペそら漬けをトッピング。味付けは各店が個性的に仕上げています。



ガラス工芸

グラススタジオ旭
☎22-1811

吹き硝子体験、サンドブラスト体験ができる工房(要予約)。工房で展示販売の硝子は、銀彩硝子を中心に、幅広い商品が並びます。



かみ はた やき 銀山上の畑焼陶芸センター ☎28-2159
上の畑焼 東羽美山窯 ☎28-2419

江戸後期のわずかな期間しか製造されなかった幻の磁器を、現在に復元した市を代表する工芸品です。東京2020オリンピックでは山形県を代表する工芸品に選ばれ、大会記念品として世界各国の大会関係者へ配られました。また、上の畑焼復興の発起人であり、現在も第一人者として精力的に活動する伊藤瓢堂氏は、その功績が称えられ、2021年に齋藤茂吉文化賞を受賞しています。



自然を感じる! うまいもんで満足! オススメモデルコース

尾花沢そば街道 (食)

市内9店舗で構成する「尾花沢そば街道」。どのお店でもその味に満足する尾花沢のイチオシのグルメです。【P12参照】

そば屋食代: 650円~1,500円



芭蕉、清風歴史資料館 (観)

芭蕉が宿泊した養泉寺散策

「おくのほそ道」関連資料のほか、古民具も展示。資料館自体が、江戸末期の町家を移転復元した貴重な建物です。

大人210円・学生100円・中学生以下無料



ブナ共生の森 (観)

「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選ばれた、四季折々の表情を見せる広大なブナ林。小鳥がさえずる静かな環境は、リフレッシュに最適です。

約2.4km・120分



道の駅「ねまる」 (買)

道の駅「ねまる」では、特産のあらゆるお土産が並びます。尾花沢すいか、尾花沢牛肉まん、花笠みぞれ(どぶろく)なども販売。新鮮野菜もありますよ。



银山温泉宿泊 (泊)

ガス灯で照らし出される银山温泉はノスタルジックな空間に包まれます。緩やかに流れる宿での時間は、格別な思い出です。

【P1~2参照】



银山温泉散策 (観)

風光明媚な银山温泉。散策コースも充実で、つかれた身体も足湯が癒やしてくれます。

【P1~2参照】

上ノ畑焼給付け体験: 1,000円~
貸衣装体験: 1,000円~



その他 体験メニュー

そば打ち体験 ◎花笠ふれあいセンター ☎0237-23-4570 (要予約)
5~11月の毎週日曜日10:00~13:00
料金 1回1,500円~(500g4人前程度)

おばねを応援! (尾花沢の地元言葉)

尾花沢市ふるさと大使のみなさん



佐々木則夫 氏
サッカー指導者
元サッカー日本女子監督。ドイツワールドカップでは優勝に導き、その後も数々の国際大会で優れた指導力を発揮。世界を代表する名手の女性監督賞を受賞。



あべ美佳 さん
テレビドラマや平成27年秋に公開された映画「いしゃ先生」の脚本を手がけたほか、小説、エッセイなど多数執筆。おばね弁と気さくなキャラクターで尾花沢をPR。



太田渉子 さん
小学3年生からクロスカントリーに打ち込み、トリノパラリンピックで銅メダル、バンクーバーで銀メダルを獲得。ソチでは日本選手団の旗手を務めた。パラテコンドーでは東京パラリンピックに出場し、夏冬両方の出場を果たした。



佐渡ヶ嶽 親方
元関脇「琴ノ若」。昭和59年初土俵以来、22年間にわたり力士として活躍。引退後は親方として後進の指導にあたり、琴欧州、琴奨菊の優勝力士を輩出する。息子が「琴ノ若」の四股名を引継ぎ、力士として活躍中。



道の駅 尾花沢

花笠の里 ねまる

尾花沢市大字芦沢1195-1 / ☎0237-24-3535
定休日/元旦 営業時間/9:00~18:00



みちのく新鮮市には、地元生産者が育てた採りたて新鮮な農産物が並びます。また、お土産を販売する「ねまる」では、伝統工芸品やお菓子、お酒をはじめ、尾花沢のお土産を豊富に取り揃えております。山形名物「玉こんにゃく」、大人気「すいかソフト」もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

東北中央自動車道・尾花沢北ICと、国道13号の両方から乗り入れ可能です。

尾花沢市へのアクセス

JR 利用



自動車利用



飛行機利用



仙台駅からのバス利用

山交バス株式会社特急48ライナー

青葉通23番より乗車



尾花沢市HP QRcode



周辺MAP



観光物産協会HP QRcode

尾花沢市商工観光課

〒999-4292 山形県尾花沢市若葉町1丁目2-3
 ☎0237-22-1111 / FAX.0237-22-3222
 <http://www.city.obanazawa.yamagata.jp>
 E-mail shoko@city.obanazawa.yamagata.jp

(一社) 尾花沢市観光物産協会

〒999-4228 山形県尾花沢市上町5丁目4-39
 ☎0237-23-4567 / FAX.0237-23-4568
 <http://www.obane-kankou.jp/>
 E-mail obane-kank@ic-net.or.jp



尾花沢市シンボルキャラクター
雪ころも